

名テノールの歌う ベルカントの真髓

講師 テノール歌手 小林一男 ピアニスト 久元祐子 国立音楽大学招聘教授 礒山 雅

テノールの美声は、音楽の中でももっとも魅力的なもののひとつ。その秘密は「ベルカント」にあります。日本を代表する歌手、小林一男さんが、ご自慢のベルカントで、イタリアの美しい歌曲を歌ってくださることになりました。ピアノは久元祐子さんという豪華版です。ピアノ・ソロや番外でバッハの曲も登場しますので、お楽しみください。(礒山講師記)



《曲 目》

A. Scarlatti (1660-1725) :

- * Bellezza che s'ama 美しい人を愛する事は
- * Cara e dolce 優しく、甘く
- * Gia il sole dal Gange ガンジスより陽は昇りて
- * Folli amanti 狂った恋人達よ

< Piano Solo > D. Scarlatti ソナタニ短調 K.9

O. Respighi (1879-1936)

“Cinque canti all’antica”「5つの古風な唄」(1906)全曲:

- * L’udir talvolta 時々耳にする
- * Ma come potrei.. でもどのように私は我慢できようか
- * Ballata バラード
- * Bella porta di rubini ルビー色の美しい唇
- * Canzone di Re Enzo エンツォ王の唄

< Piano Solo > J.C. Bach ピアノ・ソナタ長調 op.5-3

G. Rossini (1792-1868)

“Serate Musicali”「音楽の夕べ」(1830-35)より

- * L’invito 誘い
- * La Danza タランテッラ



日 時 2015年11月19日 木曜日 19:00-20:30
受講料 会員 3,672円(入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です。)
一般 4,320円
※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

- ※ ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。
- ※ 日程が変更されることがありますので、ご了承ください。
- ※ 講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。
- ※ 個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 新宿
朝日JTB・交流文化塾

〒163-0204 東京都新宿区西新宿 2-6-1
新宿住友ビル内 私書箱22号
tel 03-3344-1945
<http://www.asahiculture.jp/shinjuku>

<講師紹介>

小林一男(こばやし・かずお) テノール

国立音楽大学卒業後、日伊コンコルソでミラノ大賞を受賞し、ミラノのヴェルディ音楽院にイタリア政府給費留学。翌年、ミラノのピッコラ・スカラ座にデビューの後、同年レヅジョ・エミーリア国際声楽コンクールで特別賞を受賞。その後、ドイツのオールデンブルグ国立劇場と専属契約を結ぶなど、ヨーロッパでの多彩な演奏活動の後に帰国し、「蝶々夫人」ピンカートン役で日本デビューを飾る。その後は精力的で華々しいオペラ出演が続き、1991年には日生劇場「モーツァルト没後 200年 6大オペラ公演」のうち三演目に主演し、それぞれの役にて見事な舞台を表出させ絶賛を浴びた。数少ないベルカント・テノールの第一人者であり、1996年にはNHK交響楽団より永年の演奏活動に対して「有馬賞」を授与された。近年では、新国立劇場こけら落とし團伊玖磨「タケル」、「テノールリサイタル 2001」、團伊玖磨「夕鶴」(ウズベキスタン国立ナヴォイ劇場・カザフスタン国立劇場)、ベッリーニ「カプレティ家とモンテッキ家」、プッチーニ「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」などに出演。その澄み切って厚みのある声質の良さと叙情的な表現力をもって多大な人気と名声を博している。この3月まで国立音楽大学・同大学院の教授、同音楽研究所オペラ演奏研究部門主任として務めた。

久元祐子(ひさもと・ゆうこ) ピアノ

東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。ウィーン・サロン・オーケストラ、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など、国内外のオーケストラや弦楽四重奏団と多数共演。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。ショパン生誕200年記念年には、全国各地でプレイエルによる演奏会を行い、大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルで好評を博し、パーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。2012年、2014年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され称賛された。国立音楽大学准教授、日本ラトビア音楽協会理事。これまでにCD10作をリリースし「ハイドンとモーツァルト」「青春のモーツァルト」「ベートーヴェン”テレーゼ”」ワルトシュタイン”(以上、コジマ録音)は新聞や雑誌で絶賛される。著書に「モーツァルトとヴェルター・ピアノ」(学研)、「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)「原典版で弾きたい!モーツァルトのピアノ・ソナタ」など。毎日21世紀賞特選受賞。

久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

磯山 雅(いそやま・ただし)

1946年東京生まれ。東京大学大学院美学芸術学科修了。国立音楽大学教授を経て、現在国立音楽大学招聘教授、大阪音楽大学客員教授、いずみホール音楽ディレクター、サントリー芸術財団理事。毎日新聞に音楽批評を執筆。第1回辻荘一賞、第10回京都音楽賞研究評論部門賞、2011年度大阪市民表彰を受賞。『マタイ受難曲』(東京書籍)など、バッハ、モーツァルト、バロック音楽を中心に著訳書多数。